

# Mt.kogashi

NPO法人古賀志を守ろう会  
会報誌第6号 発行人 池田正夫  
発行日 H27年11月21日

事務局 〒320-0811

宇都宮市大通り 2-4-18

NPO法人古賀志を守ろう会

HP npo-mt-kogashi.jimdo.com

Email npo.mt.kogashi@ gmail.com

I 古賀志山主稜線の「特別地域」10か所の道標設置完了した。

①中岩と御嶽山との鞍部



②御嶽山直下分岐



③古賀志山頂と赤鳥居との鞍部分岐



④古賀志山頂



⑤東稜見晴分岐



⑥赤岩山と馬頭岩との分岐



⑦赤鳥居と御嶽山との分岐



⑧御嶽山と御崎尾根との分岐



⑨御崎尾根分岐



⑩御嶽山頂



道標の製作に当っては、鋼板加工から塗装仕上げに至る一連の過程は平野昭夫氏に、文字プリント等は三輪健治氏に、また文字の切抜き等の細かい作業過程は、事業部の方々の汗の結晶である。

## II 今年度もNPO法人「古賀志山を守ろう会」に寄付金

東京都の「株式会社セールスフォース・ドットコム」から届いたメッセージは下記の通りです。

「株式会社セールスフォース・ドットコムのボランティア表彰制度として年間48時間のボランティア時間を達成した社員に対して、社員の希望する非営利団体へSalesforce.orgを経由し寄付金を贈る事ができる制度がございます。この制度を利用した社員、伊藤からの申請により、御団体への寄付の手続きを進めさせていただくことになりました。」とある。文中に「伊藤」とあるのは、伊藤靖さん。同氏のプロフィールは下記の通り。

**伊藤 靖**さんは鹿沼市出身、鹿沼東高在学中には登山部に属し、古賀志山を練習場として訓練し、当時のインターハイ7位、国体8位の成績を収めた経歴の持ち主。現在、埼玉県在住、株式会社セールスフォース・ドットコムに勤務。

### Ⅲ 御嶽山の樹木伐採作業

古賀志山の御嶽山頂の今回の樹木伐採は、この山頂部に山座同定盤及び富士見穴標柱を設置するためである。その手続きは以下の通りである。

平成 27 年 10 月 9 日	特別地域内木竹の伐採許可申請書提出	
平成 27 年 10 月 21 日	認可下りる（宇都宮市指令緑第 22 号）	
平成 27 年 10 月 22 日	第 1 回伐採作業（北西部）	参加者 14 名
平成 27 年 11 月 12 日	第 2 回伐採作業（南西部）	参加者 16 名



伐採作業に当り、申請書、許可書、地主の同意書及び氏子総代各位の同意書を掲げ開始した。この伐採で残した樹木は、ヤマツツジ、アカヤシオ、ヤマザクラである。足尾山地から表日光連山にまたがる眺望が圧巻である。（第 1 回伐採）



南西部の伐採は、御嶽山頂部に富士見穴標柱を設置するために樹間に富士見山が見える空間を開け、そのための枝打ちを行い、最小限の伐採に留めた。（第 2 回伐採）

### Ⅳ 登山者の事故相次ぐ。ID 番号付設も今年度中に。

低山でありながら登山人口の最も多い山が古賀志山山系である。それだけに登山者の転落や骨折による事故も多発している。また、不用意に進退きわまる岩場に迷い込み救助を依頼する事例もあった。その救助のためのヘリコプターの出動回数も増加傾向にあり、警察署及び消防署の方々には大変なお世話になっている。本会が本年度中に計画している ID 番号の付設も山岳事故の救助に不可欠なものとなってきた。

## V 弁天三社再建

背中当山岩壁東端の大岩窟に祀られていた弁天三社は、文政8年（1825）以降、再建された記録がない。岩窟内は湿気が多く老朽化が著しく倒壊寸前の状態にあった。現在地に弁天三社が祀られた経緯は次の通りである。

- ・享保10年（1725）、弁財天を祀る（瀧大権現の護摩壇下から移す）
- ・寛延元年（1748）、天狗宮を祀る（女瀧岩窟下から移す）
- ・安永4年（1775）、風神雷神を勧請す



再建された弁天三社は一社に統合された。御霊入れの神事は、神主大柿宮司、氏子10名と製作に協力した黒羽刑務所職員2名が参加して行われた。（左上写真、平成27年11月14日）



この再建に至った経緯には、本会員三輪健治氏の黒羽刑務所の職員との接点が縁であった。小社の老朽化に苦慮していた氏子が、黒羽刑務所に協力を依頼して出来上がったのである。左下写真は平成27年10月6日に行われた弁天三社取り壊し作業前の神事である。

## VI お問い合わせ

パソコンのメールアドレスをお持ちの会員で、これまで本NPO事務局より連絡等のメールを受け取られたことがない方は、事務局広報部加藤のメールアドレス (tkkato@kch. biglobe.ne. jp) まで連絡いただくようお願いいたします。臨時の定例会の連絡やホームページの大きな更新等を行った場合、その旨連絡させていただきます。連絡はメール宛先欄BCC (Bind Carbon Copy) でお送りしますのでメールアドレスが不要に、他の会員に知られることはありません。但しこのような連絡希望しない方は、この限りではありません。